

PAT-NO: JP407052600A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07052600 A  
TITLE: DECORATIVE ORNAMENT  
PUBN-DATE: February 28, 1995

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
SAIDA, AIJI

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME COUNTRY  
KK SANKO N/A

APPL-NO: JP05203072  
APPL-DATE: August 17, 1993

INT-CL (IPC): B44C005/06, A47G033/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a decorative ornament which can be applied to an Easter egg, by a method wherein an egg shell body or a main body of an egglike molded body is coated with a heat shrinkable film by sticking to the main body by leaving the summit part of the main body behind and the film of the bottom part of the main body is formed as a shrunken cylindrical part by extending downward.

CONSTITUTION: An egglike mainbody 1 may be a raw egg or a boiled egg of a hen or a molded body comprised of a synthetic resin. The main body 1 is coated with a heat shrinkable film 2 which is provided with a

pattern, formed into a cylinder whose both ends are opened and having a length a little longer than the major axis of the main body 1. On this occasion, the main body 1 is coated with the heat shrinkable film 2 under a state wherein the summit part of the main body is forced out a little from the one end opening and the bottom part of the main body 1 enters the inside to the extent of 15mm. When the heat shrinkable film 2 is shrunk by heating the film 2, though the cylindrical film 2 is shrunk in the radial direction and stuck to an egglike curved surface of the main body, since a part forced out from a bottom side of the main body 1 of the film 2 is left behind as a shrunk cylindrical part 3, this is used as a rest.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-52600

(43) 公開日 平成7年(1995)2月28日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 4 4 C 5/06

C 9134-3K

A 4 7 G 33/00

Q 7137-3K

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平5-203072

(22) 出願日 平成5年(1993)8月17日

(71) 出願人 591007181

株式会社三厚

大阪府大阪市天王寺区玉造本町5-6-700

(72) 発明者 斉田 愛司

奈良県生駒郡平群町上庄470の14

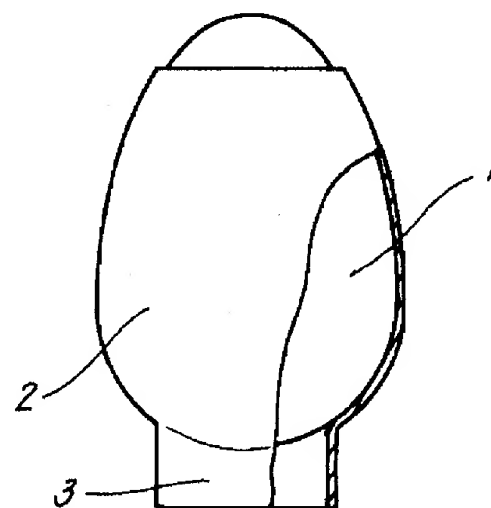
(74) 代理人 弁理士 丸山 敏之 (外3名)

(54) 【発明の名称】 装飾置物

(57) 【要約】

【目的】 卵形の装飾置物を自立させる。

【構成】 卵殻体又は卵状成形体である本体1に、該本体1の頂部を残して熱収縮性フィルム2が密着して被さり、本体底部のフィルムは延長して収縮筒部3を形成している。フィルムの収縮筒部3をスタンド代りにして、テーブル上に立てることが出来る。収縮筒部3にも模様を施して装飾効果を高めることができる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 卵殻体又は卵状成形体である本体(1)に、該本体(1)の頂部を残して熱収縮性フィルム(2)が密着して被さり、本体底部のフィルム(2)は本体の下方へ延びて収縮筒部(3)を形成している装飾置物。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、イースター卵に実施できる装飾置物に関するものである。

【0002】

【従来の技術及びその課題】イースター(復活祭)には、卵又は卵形の成形体に絵付けを施し(以下、「イースターエッグ」と呼ぶ)、キリストの復活と長寿を祈るシンボルとしている。

【0003】イースターエッグには、卵に直接に絵付け、彩色することに代えて、絵模様を印刷した筒状熱収縮性フィルムを卵に被せ、加熱してフィルムを収縮させ、卵に密着させて卵表面にフィルムの絵模様を施したものがあ

【0004】上記熱収縮性フィルムを用いたイースターエッグは、直接の絵付け、彩色の外観に近付けるために、フィルムの全周に模様を印刷し、これを熱収縮させて卵の周面に密着させているが、フィルムの幅が広すぎると、卵の頂部と底部にフィルムの収縮部が生じて外観は見苦しくなる。

【0005】フィルムの幅は広いほど、卵表面の模様範囲が広がって望ましいが、収縮領域制約があるため、卵の頂部と底部はフィルムで覆うことは出来ず、絵付けを施すことは出来なかった。

【0006】又、イースターエッグは、そのままではテーブルに立てることはできず、専用のスタンドが必要であった。

【0007】本発明は、熱収縮性フィルムを卵の底側から食み出させて、収縮筒部を形成することにより、該筒部をスタンドに利用でき、又、収縮筒部に絵付け、彩色を施すことにより、広い範囲に模様を表したイースターエッグを実現できる装飾置物を明らかにするものである。

【0008】

【課題を解決する手段】本発明の装飾置物は、卵殻体又は卵状成形体である本体(1)に、該本体(1)の頂部を残して熱収縮性フィルム(2)が密着して被さり、本体(1)底部のフィルム(2)は延長して収縮筒部(3)を形成している。

【0009】

【作用及び効果】卵状本体(1)に熱収縮性フィルム(2)を被せて、加熱するだけで、フィルムは卵状本体に密着してフィルム上の印刷模様が恰も直接絵付けの如く、本体表面に現われてイースターエッグを簡単に作ることができる。

2

【0010】フィルムの延長部は、自由収縮して硬質の小径筒部(3)を形成するから、該フィルム(2)の収縮筒部(3)をスタンド代りにして、イースターエッグをテーブル上に立てることが出来る。収縮筒部(3)にも模様を施して、イースターエッグの装飾を底部にまで描き、装飾効果を高めることができる。

【0011】

【実施例】卵状の本体(1)は、鶏の生卵、茹卵、或いは、合成樹脂等による成形体である。後記の如く、本体(1)には絵柄を施したフィルム(2)を被せるため、本体(1)は白色、その他絵柄がハッキリと見える様な淡い色が望ましい。

【0012】熱収縮性フィルム(2)は、両端開口の筒体に形成され、長さは本体(1)の長径よりも少し大きく、本体(1)が余裕のある状態に嵌まる大きさに形成され、加熱することにより筒体の半径を縮める方向に収縮する。熱収縮性フィルム(2)には、絵柄が印刷されている。

【0013】然して、熱収縮性フィルム(2)の一端開口から本体(1)の頂部が少し食み出し、熱収縮性フィルム(2)の他端から本体(1)の底部が15mm程度内側に入り込んだ状態に、本体(1)にフィルム(2)を被せる。

【0014】熱湯中へ数分間沈め、又は加熱レンジ中に収納し、熱収縮性フィルム(2)を加熱して収縮させる。筒状の熱収縮性フィルム(2)は、半径方向に縮まり、本体(1)の卵状曲面に密着する。フィルム(2)は本体(1)の長手方向には殆ど縮まらず、フィルム(2)の本体(1)の底側から食み出た部分が収縮筒部(3)を形成する。

【0015】上記の如く、卵状本体(1)に熱収縮性フィルム(2)を被せて、加熱するだけで簡単に作ることができる。フィルム(2)の収縮筒部(3)をスタンド代りにして、テーブル上に立てることが出来る。収縮筒部(3)にも模様を施して装飾効果を高めることができる。

【0016】図3は他の実施例を示し、本体(1)の底部に円筒状、円錐台状等の小片(4)を張り付け、該小片(4)を包む様にフィルム(2)を収縮させている。フィルム(2)の収縮筒部(3)内に小片(4)が嵌まって、収縮筒部(3)を補強しているため、装飾置物を安定してテーブルに立てることができる。

【0017】又、収縮部(3)は小片(4)の形状に沿って収縮するから、所望形状のスタンドが形成できる。小片(4)が4角形であると、装飾模様は熱気球の形状に似る。生卵の底に孔(図示せず)をあけて中身を取り出し、該孔を小片(4)で塞ぐことにより、孔の存在を隠すことができる。

【0018】又、図3に示す如く、フィルム(2)の本体(1)頂部側に、本体(1)を一周する断続的な切条線(5)を施しておけば、本体(1)が半熟卵の場合に、該切条線(5)から上部のフィルム(2)を切取って、スプーンで食べ易くなる。本発明は上記実施例の構成に限定されるこ

とはなく、特許請求の範囲で種々の変形が可能である。

【符号の説明】

【図面の簡単な説明】

【図1】 置物の一部を断面で表した正面図である。

(1) 本体

【図2】 本体と収縮前のフィルムの大きさの説明図である。

(2) 熱収縮性フィルム

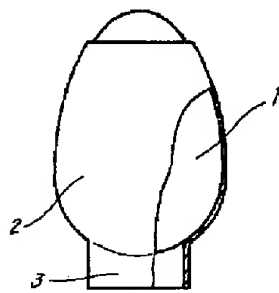
(3) 収縮筒部

(4) 小片

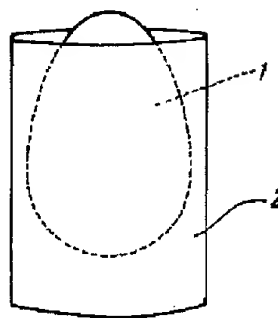
【図3】 他の実施例の一部を断面で表した正面図である。

(5) 切条線

【図1】



【図2】



【図3】

